



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.

福島県では、ふくしまに想いを寄せる方々の協力を得ながら、ふるさと復興の決意を新たに、ふくしまから“共に”新たな何かをはじめの活動として「ふくしまからはじめよう。プロジェクト」を展開しています。

福島県の防災拠点となる危機管理センターを運用開始

福島県 危機管理課

福島県では、自然災害をはじめとするさまざまな危機から県民の安全・安心を守る防災拠点として、危機管理センターを整備しました。

当センターでは、県全体の防災力を高めるため、関係機関と連携しながらさまざまな訓練を実施していくほか、自助・共助・公助に関する県民の理解を深めることを目的とした施設見学・防災講座を実施しています。

ホームページで詳しい情報を公開しています。

[福島県 危機管理センター](#)

[検索](#)

迅速・的確な災害対応のために

全国では、東日本大震災以降も集中豪雨による土砂災害や火山の噴火などが相次いでおり、災害の脅威が増しています。

こうした中、県民の皆さんの生命・身体・財産を守るためには、迅速かつ的確な災害対応を行うことが重要です。

福島県危機管理センターでは、災害発生時に災害対策本部を速やかに立ち上げるとともに、消防・警察・自衛隊などの防災関係機関が一堂に会して、災害に関する情報を集約・共有し、速やかに対応方針を決定することにより、迅速かつ的確な災害対応を実現します。

危機管理センターの3つの特徴

迅速かつ的確な災害対応を実現するために、危機管理センターは3つの特徴を備えています。

1 災害に強い建築物

災害発生時に、危機管理センターが防災拠点として機能するために、地震による揺れを少なくす

る免震構造や停電時でも災害対応業務を継続できる非常用発電設備を設置しました。



非常用発電設備

2 災害対策本部の立ち上げの迅速化

災害対策本部会議室や事務局の活動スペースを常設化したことにより、災害対策本部の設置時間が大幅に短縮され、速やかに初動対応を実施できます。



災害対策本部会議室



常設された災害対策本部の活動スペース

3 情報共有機能の充実

危機管理センターでは、防災関係機関が活動するためのリエゾンオフィスを設置するとともに、センター内の各室に映像ディスプレイを備えることで、円滑な情報共有が可能になりました。

また、災害関連情報を県民の皆さんに迅速かつ正確に発信するため、記者会見を行うプレスルームを設置しました。



プレスルーム

地域防災力を高めるために

大規模な自然災害が発生した場合、被害を最小限に抑えるためには、県や消防機関等による救助や支援、災害に備えた対策などの取り組み「公助」を基本としつつ、自分の身は自分で守る「自助」、地域の人が互いに協力し合う「共助」の取り組みを促進することが必要になります。

危機管理センター見学について

危機管理センターの見学では、自然災害の備えについてまとめた映像やパネル展示などをおして、自助・共助の考えを学習することができます。

また、希望に応じて防災講座も実施しますので、防災教育の場として当センターをぜひご活用ください。

見学概要

(1) 見学実施日時

平日 午前9時から午後4時
(祝日、年末年始を除く)

(2) 見学概要

- ア 災害の備えに関する映像の視聴
- イ 防災に関するパネルや資機材（防災グッズなど）の展示品見学
- ウ 災害対策本部会議室などの施設見学

(3) 見学予約方法

見学希望日の10日前までに、お申し込みください。

〈お問い合わせ先〉

県庁危機管理課 024 (521) 8651

福島県 危機管理センター [検索](#)

